

報道関係各位

2006年5月24日

ITナビゲーションシステム研究会  
三井物産株式会社  
株式会社ゼンリン  
株式会社エフエム東京

**地上デジタルラジオ放送を利用した  
地図配信サービス実証実験開始について**

ITナビゲーションシステム研究会<sup>※1</sup>(以下ITナビ研、事務局 三井物産株式会社)は、会員企業である株式会社ゼンリン、三井物産株式会社および他の会員企業と、地上デジタルラジオ放送を利用した広告・コンテンツ及び各種地図データに対応できる仕組みを検討し、2006年8月を目処にデジタルラジオ推進協会(DRP)の実用化試験放送を利用した実験を開始致します。実証実験については、株式会社エフエム東京が呼びかけ人となって設立した デジタルラジオ ニュービジネス フォーラム内に新たに設置されるワーキンググループ<sup>※2</sup>で行う予定です。

現在、カーナビゲーションシステム等のモバイル端末へ通信などを通じた地図配信が一部で開始されておりますが、通信コスト等の課題が残っているのが現状です。しかし、地上デジタルラジオ放送による一斉配信が実現することによって、地図データのみならず、交通情報や駐車場情報など地図に関連した最新情報を、定額制の利用者負担でモバイル端末に配信することが可能になり、広く一般への普及が期待されます。

今後、参加各社は、本プロジェクト推進を通じ、地図配信(LBS<sup>※3</sup>)における新しい放送融合サービス分野の市場創出を検討していきます。

☆カーナビゲーションシステムは、年間販売台数300万台という市場の大きさに加え、自動車分野における Information Technologyを牽引するシステムとして、通信・放送との融合を図ることが予想されます。

※1=「添付資料2」参照

※2=「添付資料1」参照

※3=Location-Based Servicesの略

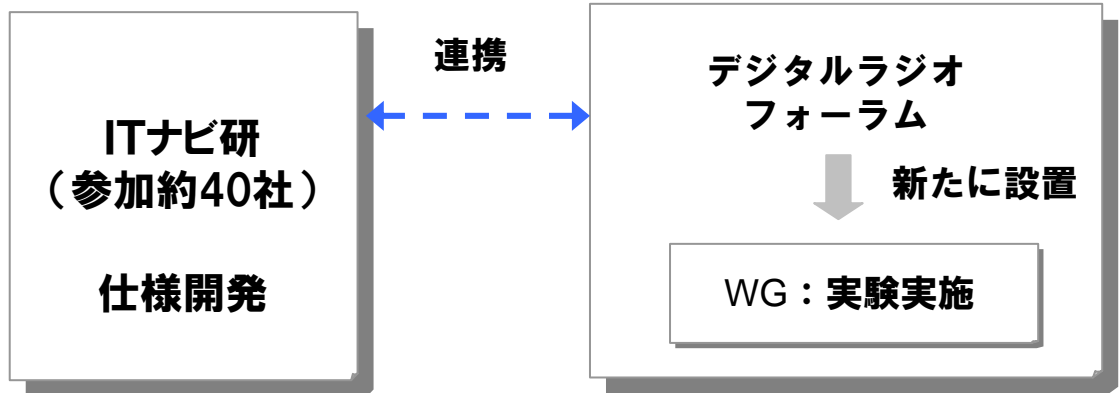
**【添付資料】**

資料1:プロジェクト推進体制及び実験概要

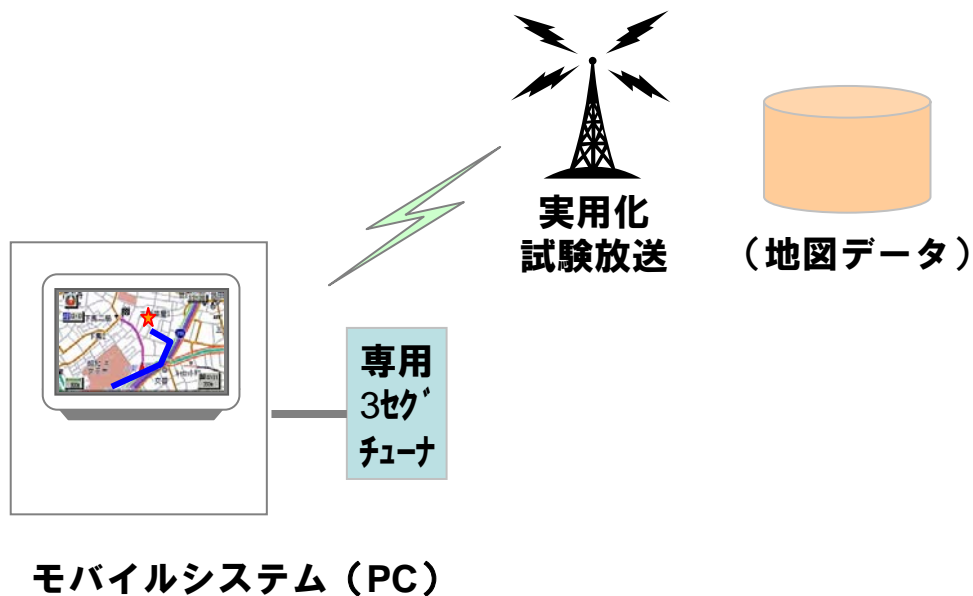
資料2:ITナビゲーションシステム研究会概要

## 1.プロジェクト推進体制

ITナビゲーションシステム研究会で放送仕様を開発、実験システムを構築する。  
フォーラム内のWGでは、同実験システムを用い、実験を実施する。



## 2.実験システム概要



ITナビゲーションシステム研究会

(経緯)

ナビゲーションシステム研究会(ナビ研)は、エレクトロニクス、自動車、地図、ソフト、出版、商社などの企業が集まって1986年に発足しました。業界や企業の枠を超えたユニークな活動を行いながら、世界でも最初の共通規格となるナビ研規格を開発し、各地域や各企業に固定された個別のシステムではなく、時空を超え、自由な互換性を持った種々の分野の魅力的なコンテンツを市場で入手出来、各社の特徴を持ったハードウェア上で共通に利用できる仕組みとしてカーナビの立上げ・発展の一端を担ってきています。

(新たな展開)

2000年8月には、「ITナビゲーションシステム研究会」として新たなスタートを切りました。これは14年にわたる活動実績を踏えつつも、急激に進展するIT革新に呼応すると同時に、活動領域をカーナビの他、歩行ナビ、その他の各種ナビゲーションシステムの複合的な展開にそのターゲットを拡張するためです。ここでは、今後発展する携帯電話、デジタルカメラ、PC等の進化領域に於けるナビ機能の構築と各種ナビシステムとの連繫化も含まれます。

ナビゲーションをビジネスとし、互いに競争と協調の精神を持って活動を行っている会員企業に支えられて発展してきたナビ研で培われた成果とメンバーによる専門エンジニアリング機能を生かし、ITナビ研として日本だけでなくグローバルな視点を持ち、活動を行っていきます。

\*\*\*\*\*

正式名称：ITナビゲーションシステム研究会

Navigation System Researchers' Association

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産ビル

(事務局：三井物産(株) E-mail:info@naviken.jp FAX:03-3213-2230)

参加企業：ゼンリン、松下電器産業、ソニー、本田技術研究所等